

第7分科会（講義形式）

京都地区における大学の防災対策

概要：

近年京都地区では、幸いにして大規模な地震災害をあまり身近に経験していない。一方で、東日本震災時の例を見ても、災害発生時には大学キャンパスが地域住民や観光客等一時訪問者の避難場所となることが多く、教職の別なく対応が求められる。特に京都は外国人観光客が多いという特殊性があり、より大きな混乱が予想される。

大規模災害発生時に大学として必要になると予想される対応、それに向けて準備しておくことなど、専門家の方にお話を伺いする。

<プログラム>

14:30 趣旨説明 京都外国語大学 准教授 土田 浩一氏

14:40 講演 1. 「災害時における大学の役割-立命館大学から」
立命館大学 産業社会学部 教授・災害危機レジリエンス研究センター長
丹波 史紀氏

15:25 質疑応答

15:35 休憩

15:45 講演 2. 「災害時に大学はどう動くことになるか 副題：地域資源としての
キャンパスと人材を活かすフェーズフリー戦略」
日本福祉大学 福祉経営学部 教授 山本 克彦氏

16:30 質疑応答

16:40 ディスカッション

17:00 終了